



マスコミでは、今年の出来事を振り返る番組や記事が多く見られるようになりました。ご家庭での10大ニュースはどのようなものだったのでしょうか。また、子ども達が新年に掲げていた「今年の抱負」の出来具合はどうだったのでしょうか。1年の終わりに当たり、自分の有り様を見つめ直すことは、次の一步を踏み出すための大事な心構えだと思います。さて、学校においては、「口蹄疫」に伴うさまざまな制約がありましたが、素直な子ども達、保護者の温かいご協力、地域の方々の力強いバックアップなどにより、今年を大過なく終わることができそうです。多くの成果を残したという確信はありますが、一方、子ども達の学習内容の定着や校外での生活態度に関して、まだまだ指導が必要であることを痛感しています。また、私を含め教職員の言葉や行動が足りず、ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。

小松台小は創立26年目ながら、数々の実績を残しています。子ども達が、この学校に誇りと愛着をもつことができるよう、さらに力を合わせなければなりません。「小松台小で学んで良かった、小松台小に通わせて良かった、小松台小に勤めて良かった」と言える学校にしていくためのお力添えをこれからもお願いいたします。

もうすぐ冬休み

25日(土)

より1月6日(月)までの13日間は冬季休業になります。その間に、年末年始の行事が入ります。年の終わり、始まりは、地域の文化や伝統を体験する有意義な時期である反面、開放的な気分押し流され、体調をこわしたり、問題行動が起こったりする傾向にあります。

そこで、学校から配布します「冬休みの過ごし方」や「保健だより」などをもとに、楽しく安全な冬休みにしてほしいものです。特に、本校の大きな課題である、「路上での事故」や「隣家・お店等への迷惑行為」については、十分言い聞かせてください。

ところで、国際化が急速に進む現代においては、前提として、我が国の伝統・文化の尊重が強く求められています。特に、この年末年始は、古くから伝わる風習・しきたりに触れるよい機会です。このような古来の行事に触れるということは、言い換えれば、先人の知恵や願いを感じ取ることだと思います。医学や科学が未発達な時代においては、人々の拠り所は「祈り」であったはずですが、

例えば、年越しそば、除夜の鐘、おせち料理、門松、しめ縄、鏡餅など、その一つ一つに人々の切なる願いが込められています。無病息災であったり、五穀豊穡であったり、子孫繁栄であったりと、つまり、「幸せ」を求める心の表れと言えます。このような、むかしの人々の穏やかで、やさしく、清らかな思いを子ども達に語り継ぎたいものです。



== 参観日講演会 ==

12月7日(火)の授業参観後に足立明彦先生(みやざき中央支援学校教諭:スーパーティーチャー)を招き講演会を開催しました。「子育てに生かす脳科学からの情報I(パート1)」というテーマで、子ども達(大人も含めて)の言動の背景にある大脳生理学をもとに、具体的で興味あるお話をされました。このような科学的根拠をもとにした子ども達への関わり方をすると大きな効果が得られると感じました。

保護者の皆様にもアンケートを書いていたしましたが、「ぜひパート2を伺いたい」という感想が多数ありました。来年度も、このような機会をつくりたいと検討中です。

☆☆☆ 転出入の情報提供を! ☆☆☆

人事異動や学級編制にかかわる児童の在籍数を把握しなければなりません。本校は、80名強の学年が多く、今後の転出入によっては学級の増減に影響します。そこで、転出予定の方、あるいは転入の情報をおもちの方は、早めに担任へご一報いただければ幸いです。(未確定の情報で構いません。また、お寄せいただいた情報は口外いたしません。)

◆ ボランティア委員会の呼びかけで募金活動を行いました。25,663円が寄せられました。この義捐金は、県共同募金会に送らせていただきました。ありがとうございました。

ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えください。新年もよろしくお願いいたします。

